

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和 6(2024) 年度

施設名	栃木県総合運動公園（東エリア）
施設所管課	生活文化スポーツ部スポーツ振興課
指定管理者	株式会社グリーンとちぎ（法人番号 7060001029027）
指定期間	令和 3（2021）年 4 月 1 日～令和 18（2036）年 3 月 31 日

1 施設の概要

施設所在地	宇都宮市西川田 4－1－1
施設の概要	① 敷地面積：66,151 m ² 延床面積：38,525 m ² ② メインアリーナ：（延床面積 12,880 m ² ）固定席 3016 席 可動席 1992 席 バスケット 4 面、バレー 4 面、バドミントン 20 面 ③ サブアリーナ：（延床面積 3,352 m ² ）固定席 304 席 バスケット 2 面、バレー 2 面、バドミントン 10 面 ④ 屋内水泳場：（延床面積 10,990 m ² ）固定席 2112 席 階状観覧スペース 1000 50m プール 25m プール（飛込兼用）日本水泳連盟公認 ドライランド ⑤ ウェルネスエリア：（延床面積 1,773 m ² ）スタジオ A/B、トレーニング室 ⑥ 体育館分館：（延床面積 1,287 m ² ）
業務内容	① 栃木県総合運動公園東エリアの施設の維持管理に関すること ② 栃木県総合運動公園東エリアの施設等の利用の許可に関すること ③ 栃木県総合運動公園東エリアの運営に関すること ④ その他付帯すること

2 収支の状況

令和 6(2024) 年度

(千円)

収入			支出		
指定 管理 ※2	指定管理料	622,048	指定 管理 ※2	事業費	0
	利用料金収入	143,882		管理運営費	705,195
	その他収入※1	0		人件費	23,650
				その他支出※1	422
	合計	765,930		合計	729,267
指定管理業務収支差額①		36,663			
自主事業		5,365	自主事業		5,365
自主事業収支差額②		0			
収支差額（①＋②）		36,663			
備考（※1 その他収入の主なものを記載）			備考（※1 その他支出の主なものを記載） 租税公課費 422 千円		

※ 2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和 5(2023) 年度（前年度）

(千円)

収入			支出		
指定 管理 ※2	指定管理料	548,143	指定 管理 ※2	事業費	0
	利用料金収入	114,168		管理運営費	606,600
	その他収入※1	0		人件費	23,650
				その他支出※1	328
	合計	662,311		合計	630,578

指定管理業務収支差額①	31,733		
自主事業	4,205	自主事業	4,205
自主事業収支差額②	0		
収支差額（①+②）	31,733		
備考（※1 その他収入の主なものを記載）		備考（※1 その他支出の主なものを記載） 租税公課費 328 千円	

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

施設名	項目	令和 5(2023)年度 (前年度)	令和 6(2024)年度
メインアリーナ	営業日数	347 日	347 日
	稼働率	68.3%	75.7%
	利用者数	160,206 人	196,096 人
サブアリーナ	営業日数	347 日	347 日
	稼働率	70.7 %	78.2%
	利用者数	22,292 人	22,634 人
屋内水泳場	営業日数	330 日	330 日
	利用者数	66,393 人	77,891 人
	全面/片面利用件数	306 件	387 件
	レーン専用件数	1,693 件	2,478 件
ウェルネスエリア	営業日数	347 日	347 日
	スタジオ稼働率	59%	60.8%
	トレーニング室利用者数	19,190 人	26,173 人
	スタジオ利用者数	17,545 人	20,015 人
体育館分館	営業日数	347 日	347 日
	利用者数	7,708 人	7,802 人

4 サービス向上に向けた取組

- 1) ホームページ：館内利用状況、施設予約、教室、イベント、休館等の各種お知らせ掲載
- 2) 館内：施設で実施する教室案内/イベント情報、月 1 回発行の「NIKKAN」等掲示
- 3) ポスター：県、警察、消防、各団体、県内他施設からのポスター掲示
- 4) 維持管理：日常的に点検を行うほか、毎月 1 回の休館日を施設点検日とし施設・設備の点検と日常では行えない清掃を実施
- 5) ご意見箱の設置：利用者からのご意見に対し、出来るものから速やかに対応

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法
1) 利用者アンケート 1 月 団体利用者アンケート実施。71 団体から回収 3 月 個人利用者アンケート実施。147 人分回収
2) 教室利用者アンケート 9 月スポー教室利用者対象に実施。342 人分回収
3) ご意見箱の設置 51 件投函あり

主な利用者意見（苦情・要望）	対 応
利用） ・土日プールの水深が 1.4m の設定だと年配者は利用し難い ・ドライヤーの設置希望 ・駐車料金の無料時間を 3 時間にして欲しい（駐車料金に関するご意見多数） ・高齢者割引があると良い	・プールの特性上、土日は飛込練習を可とする為そのまま 1.4m の設定とする ・持込利用は可とお願い ・県条例のため、ご意見聴取のみ ・ご意見聴取のみ
主な利用者意見（積極的評価）	
・回数券/定期券が出来て良かった。 ・施設は清潔感が保たれており、スタッフの方の対応も良い。	

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<p>1) 施設の認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、SNS 配信を実施：教室、イベント等施設情報を配信 ・県民の日（6 月 15 日）、施設独自のスポーツディ（2 月 11 日）にイベント実施 県民の日にはトレーニング室、水泳場を無料開放。 アリーナで BREX 親子ふれあいバスケット、レーヴィス栃木バレーボール教室等実施 スポーツディには施設独自の催しとして榎本遼香飛込チャレンジ、走り方教室、ダンスフィットネス祭、スポーツ体験会など実施 ・施設見学の実施：日常的に施設見学者を受入れ <p>2) 利用者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回数券・定期券：6 月からトレーニング室/水泳場に加えスポーツ教室回数券導入 ・スポーツ教室：利用者の多様なニーズに応え、1 回ごとの教室と月謝制、2-3 か月にわたるクール制など豊富なプログラムを用意。定期的に内容の見直し実施 ・個人で気軽に参加できるように、バレーボール・フットサルなど個人参加型のプログラムに 10 月から現在注目を集めているピククルボールを導入 <p>3) 利用者ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先利用団体との事前打合せの実施：各諸室の利用時間、導線等の確認 打合せを確実に行う事により利用しない時間を開放。一般利用者の利用枠確保 ・ご意見箱の設置：利用者からの苦情・要望・感謝のご意見を運営維持活動に反映 ・アンケートの実施：利用者アンケート 2 回・教室利用者アンケート 1 回実施 要望を教室、備品等に反映 <p>4) 施設不具合の防止、対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全、安心を考え、施設・設備不具合に対応 ・閉館後アリーナ床点検は基本毎日実施 ・バスケットボール、トレーニング室器具は年 1 回業者によるメンテナンスを実施

利用者サービス向上を図るための取組	
1) サービス水準の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心・快適に利用する事が出来るよう全ての利用者に耳を傾け、明るく、親切かつ丁寧な対応を心掛ける ・挨拶プラスワン運動を実践する ・ホスピタリティ豊かな接客 ・5S 運動への積極的な取り組み 2) 広報媒体の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用し教室案内、休館情報、利用状況を告知 ・SNSを活用し教室、イベントなどのタイムリーな連絡 ・教室の実施計画をチラシとして作成し館内掲示・ホームページでの広報を行う 3) 安全で効率的な管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ・目視項目等点検ルートを設定し効率化を図る ・年2回の消防訓練の継続実施（南消防署の立会の下） ・イベント時等建物トラブルの発生時の緊急対応を迅速に実施 ・委託業者の行う定期点検は運営に支障のないよう注意 	
今後改善・工夫したい事項	
利用者の確保 1) 気軽にスポーツができるニーズへの対応と稼働率の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・個人参加型プログラムの増加、注目を集めているピククルボールなどで個人開放を実施。 2) 多様なイベントを開催する事による当館ならではのオリジナリティの発揮 <ul style="list-style-type: none"> ・大会開催：施設が主催し試合の場を創出。飛込、バレーボール、フットサル、バドミントン大会の開催 3) スポーツ教室の web 予約導入 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント性の高い教室、1 回制の教室から実施し利用者の利便性を高める 事業拡大 1) 教室内容の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・スタジオ教室で人気の高いズンバの定員増加。水泳場では飛込選手コースの拡大。 2) 教室回数券の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・水泳場、トレーニング室に続き、6 月からスタジオ教室・アリーナでの個人参加型プログラムに対応。利用者の利便性の向上に対応 施設不具合の防止 1) 施設不具合、修繕が発生した場合は直ちに現地スタッフが対応する 2) 現地スタッフだけでは対応できない場合は本社より応援体制を構築しトラブル防止に努める	

7 所管課による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	利用調整の実施や HP での予約により、公平性が確保されている。	B
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	適正に行使している。	B
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。また、平等利用が確保できない場合の対応は適切か。	各種研修により、高齢者、障害者等に対し十分に配慮がなされている。	B
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	スポーツ振興や競技力向上（強化練習等）、健康の増進や体力の向上（スポーツ教室等）という設置目的に沿った業務実施がなされている。	B

	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	令和6年から販売を開始したスポーツ教室の回数券により、利用者の利便性向上に寄与している。	A
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	意見箱の設置やアンケートの実施により、利用者の要望を把握し、向上に努めている。	B
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	毎月の協議会において情報共有した上で、改善等の対応をしている。	B
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	維持管理や安全管理に関する計画を策定し、日常点検から定期点検まで計画どおりに実行している。	B
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	PFI の特性を生かし、構成員間で適切な役割分担を行い、生じた課題に対応することができている。今後の利用者数や収益について、中・長期的な目で見極めたい	B
3. 管理を安定的に行う物的人的基礎	①組織体制は適正か	職員をバランス良く配置し、適正な管理運営を行っている。	B
	②収支は適正でバランスがとれたものか	昨年度と比べ利用者及び利用料金収入が増加しているため、収支は適正でバランスがとれたものといえる。	B
	③経費の縮減に取り組んできているか	光熱水費について、平均気温や利用者数等の実績に基づいた分析を行い削減に努めている。	A
	④人材育成は適切に実施されているか	マニュアルの作成や各種研修を計画的に実施することにより、利用サービスの向上に努めている。	B
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	緊急連絡網を作成し、危機対策マニュアルのもと、有事の対応方針や連絡体制の構築ができている。 また、消防署立会いの下、年2回の消防訓練を実施し、災害時の迅速な対応能力の向上に努めている。	B
	⑥県や関係機関との連携ができているか	毎月協議会を行い、状況等の情報共有をすることで、県と管理者間で連携が取れている。	B
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報保護法をはじめとした法令を遵守し、適切に運営している。	B
	②情報公開は適切になされているか	情報公開規定を策定しており、開示要求には適正に対応する体制を整えている。	B
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	長期の事業契約であることを踏まえ、今後の課題・取組について、具体的に認識・対策している。（平日の昼間の利用者が比較的小さいことに対しての利活用方法等）	B

②自主事業が計画どおりに実施されているか	概ね計画通りに実施されている。	B
③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	自主事業の実施に際し、関係団体との連携を図ることができている。また、イベント開催時には地域に周知等を図り、利用促進に努めている。	B
④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	近隣が住宅地であることを踏まえ、看板の設置や呼びかけにより、積極的に騒音防止に努めている。	B
⑤その他管理運営上の特記事項	ダイビングカップやバレーボール大会などの独自イベントに加え、ピックルボールなどの新規イベントを開催し、施設の利用促進や認知度向上に係る取組を行っている。	A
総合的な評価		
<p>・開館４年目となり、施設の認知度の向上や回数券の対象拡大等により、昨年度と比べ利用者及び利用料金収入が増加した。課題である平日の昼間の稼働率を向上させるため、今年実施した幼稚園の合同運動会や全国高等学校ロボット競技大会（ロボコン）などの幅広い活用方法の検討を期待したい。</p> <p>・PFI 事業者として、民間事業者の目線で積極的に事業提案を行い、利用促進に関する取組や適正な維持管理に努めている。また、構成員間で適切な役割分担を行い、生じた課題に対応することができている。</p>		

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して優れた取組となっている。
- B：事業計画どおりの取組となっている。
- C：事業計画に対して劣る取組となっている。
- D：事業計画に対して著しく劣る取組となっている。